

再根管治療のグローバルスタンダードを目指して、

牛窪 敏博 (東大阪市開業)

3月度生涯研修抄録

はじめに
保存修復処置の中でも根管治療は日常臨床において頻度が高く、時間と手間が掛かる割にはパフォーマンスが悪い。
保険診療という限られた時間内に確実な処置を實踐するには、今までのようなタイムマネージメントや診療環境では満足いく結果が得られない。頭では理解していても実際には非現実的であると諦めてしまい、近代歯内療法グローバルスタンダードから目をそらし、旧態依然のシステムに依存している臨床家も少なくはない。

また患者さんからの術後の痛みや腫れ、そしてクレームが多いのもやはり根管治療に関わる問題が多いように感じられる。如何に安心できる補綴処置が提供できるかが

今臨床の場に求められているが、そのために信頼性の高い根管治療の實踐が必要不可欠である。痛みが止まらないからといって、何度も根管治療を行い最終的にはお手上げになり抜歯になった場合や、クラウンを装着したが痛くて咬めないとか、痛みの無い歯を治療したにも関わらず術後急に痛くなったのは治療を開始したからだとかクレームを受ける等様々な問題が浮き彫りになってきている。

また歯科医師側からすれば、根管治療はきつちりとするほど痛みが出るが、どうしてだろうか？根尖部付近までファイブが到達しないのは石灰化しているからだろうか？根尖部はどれくらいまで拡大すればよいのか？等の疑問が根管治療を難しくしている。そこで今回は、根管治療の中でも特にやり直しの再根管治療を中心に、どのようになれば手際の良い処置が実現できるのかを臨床を交えながら解説させていただきます。

3月度生涯研修

日時 3月6日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール
定員 100人
会費 会員3千円、未入会者1万円
※お問い合わせは協会事務局(Tel.06-6568-8773)まで

第22回理事会決議

協会は第22回理事会で、TPP参加に反対する決議を採択した。以下に全文を掲載する。

医療を市場化するTPP (環太平洋経済連携協定)への参加準備が進められている。

昨年、閣議決定(2010年11月9日)された「包括的経済連携に関する基本方針」では、「非関税障壁を撤廃する観点から、行政刷新会議の下で」具体化するようされ

公的保険医療を崩すTPP参加に反対する

保険でよい歯科医療こそ国民の望む道

た。これを受けて行政刷新会議の規制・制度改革に関する分科会は「規制・制度改革分科会中間取りまとめ」(1月26日)

きではあるが「営利法人の役員が医療法人の役員として参画」「譲受法人への剰余金配当等」を認めることや、「医療機

範囲を再定義することが必要」としていることは重大だ。昨年6月に経産省が発表した「産業構造改革ビジョン」では、

致している。先に挙げた数々の医療市場化の基盤整備や国際交流と銘打った外国人富裕層に対する高額治療の受け入れ(医

拍車をかけるものである。くしくも今年、国民皆保険50周年の年である。歯科における国民の

要求は、混合診療の拡大ではなく、国民皆保険のもと、保険のきく範囲を広げること、窓口負担を軽くすることである。

私たちは、「お金の格差」が「命や健康の格差」につながる、国民皆保険制度の崩壊を招くTPPへの参加に断固反対するものである。

2011年2月12日
大阪府歯科保険医協会
第22回理事会

小児と障害児の治療法

三島地区が講習会

協会の三島地区は、「小児と障害児・者の治療と対応」をテーマに1月29日、茨木市福祉文化会館で講習会を開き、13人が参加した。講師は大阪歯科大学小児歯科学講座助教の人見さよ子氏。今回の講習会は、大学病院小児歯科、障害者歯

科への紹介患者さんの症例を中心とした内容だった。

全顎的に残根状態になった乳歯列でも保険の為に左右非対称から正中埋伏過剰歯が疑われた例、小さな頃の外傷が原因の萌出困難歯症例、萌

出嚢胞、粘液嚢胞、リガフェード病、小帯異常などの病態と対応法、また障害者歯科治療をする上での注意点を説明があった。

その後の質疑応答では、乳大歯の早期喪失の対応法や「水平的保険だけでなく垂直的な咬合高径の確保をどう考えるか？」などの質問があった。

(茨木市・永田篤)

おおさか医科・歯科九条の会発足5周年記念企画
歯科協会創立40周年・
医科協会創立50周年・
協同組合創立40周年記念企画

**激動の世界から見た
日本国憲法九条**

記念講演
伊藤千尋氏(朝日新聞記者)

日時: 3月6日(日) 午後2時30分～
会場: M&Dホール
定員: 100人 会費: 無料

おおさか医科・歯科九条の会は、発足から5周年。歯科協会、協同組合創立40周年・医科協会創立50周年という年でもあります。記念企画として朝日新聞記者の伊藤千尋氏の講演会を開催します。伊藤氏は68カ国を現地取材し人びとの姿を伝え続けるとともに、憲法を活かす「活憲」(かっけん)を訴えています。お気軽にご参加ください。

協会行事案内

電話 06-6568-7731
お申し込みは ファクス 06-6568-0564

個別指導対策講習会

「指導対策とカルテの書き方注意点」
日時 3月5日(土) 午後7時～9時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 社保研究部講師団 会費 会員無料
内容 厚生局開示資料から個別指導の傾向と対策、日常のカルテ記載の注意点についての解説
※「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト」(2010年8月版)をご持参ください

大阪府北部・東部・南部地区総会記念講演

「スーパーボンド」「エムドゲインゲル」説明会
日時 3月12日(土) 午後6時～8時45分
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 メーカー担当者(サンメディカル㈱・生化学工業㈱)
会費 会員無料、未入会者1万円

東大阪・八尾・柏原地区総会・記念講演

「今、何故 口腔内科なのか」ジスロマックによる歯周病治療の考え方
日時 3月12日(土) 午後6時30分～9時
会場 TTSセンター6階「U-コミュニケーションホールM」(近鉄奈良線「河内小阪」駅徒歩2分)
講師 王宝禮氏(大阪歯科大学歯科医学教育開発室教授)
定員 40人 会費 会員無料、未入会者1万円

北大阪地区総会・記念講演

「歯科診療室での歯周保健のための禁煙サポート」
日時 3月13日(日) 午前10時～12時
会場 千里阪急ホテル(地下鉄「千里中央」駅南出口から徒歩3分) 定員 100人
講師 栗石聰氏(大阪大学名誉教授(株)サンスター顧問) 会員無料、未入会者1万円

「今日からできる歯科訪問診療」講習会

日時 3月19日(土) 午後6時～8時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 小澤力氏(協会副理事長)
会費 会員1500円、未入会者1万円
※会費には、10年12月に発行した『今日からできる歯科訪問診療の手引き2010年版』(A4判80頁、定価1500円)のテキスト代含む

南河内地区総会・記念講演

「歯科業界の現状と未来—先輩の話—」
日時 3月19日(土) 午後6時～8時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 岩間總一郎氏(松原市開業)、吉岡正雄氏(神戸市開業)
会費 会員無料、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。